



平成 25 年 2 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 24 年 7 月 12 日

上場会社名 株式会社柿安本店 上場取引所 大
 コード番号 2294 URL <http://www.kakiyasuhonten.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤塚 保正
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 赤塚 義弘 (TEL) 0594 (23) 5500
 四半期報告書提出予定日 平成 24 年 7 月 12 日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・☐無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・☐無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 25 年 2 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 24 年 3 月 1 日～平成 24 年 5 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 2 月期第 1 四半期	9,983	3.2	558	30.2	559	30.0	290	928.4
24 年 2 月期第 1 四半期	9,675	4.7	429	58.2	430	58.0	28	△77.7

(注) 包括利益 25 年 2 月期第 1 四半期 273 百万円 (2,130.6%) 24 年 2 月期第 1 四半期 12 百万円 (ー%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25 年 2 月期第 1 四半期	23.33	ー
24 年 2 月期第 1 四半期	2.26	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25 年 2 月期第 1 四半期	17,993	12,084	67.2
24 年 2 月期	17,831	12,246	68.7

(参考) 自己資本 25 年 2 月期第 1 四半期 12,084 百万円 24 年 2 月期 12,246 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24 年 2 月期	ー	0.00	ー	35.00	35.00
25 年 2 月期	ー				
25 年 2 月期(予想)		0.00	ー	35.00	35.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・☐無

2. 平成 24 年 2 月期の期末配当金 35 円 00 銭の内訳 (普通配当 30 円 00 銭、記念配当 5 円 00 銭)

3. 平成 25 年 2 月期の連結業績予想 (平成 24 年 3 月 1 日～平成 25 年 2 月 28 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	20,418	1.3	1,132	8.6	1,131	8.1	568	67.7	45.65
通 期	42,418	1.0	2,721	7.2	2,719	6.7	1,367	37.1	109.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・☐無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・☐無
新規 一社 (社名) , 除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・☐無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・☐無
② ①以外の会計方針の変更 : 有・☐無
③ 会計上の見積りの変更 : 有・☐無
④ 修正再表示 : 有・☐無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期1Q	12,446,700株	24年2月期	12,446,700株
② 期末自己株式数	25年2月期1Q	333株	24年2月期	333株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期1Q	12,446,367株	24年2月期1Q	12,446,392株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております

※ 業績予想の適切な利用に関する説明, その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による景気低迷から緩やかな回復基調となりつつあるものの、ユーロ圏の債務問題を背景とした海外景気の減速懸念や電力の供給不安等により、景気の先行きは依然不透明な状況となっております。

食関連業界におきましても、個人消費の低迷が生活防衛意識や節約志向により長期化しており、経営環境は引き続き厳しい状況となっております。

このような環境の中、当社グループは、前年同期は震災直後の自粛ムードの広がりや関東を中心とした計画停電による営業短縮を受け、販促企画の大幅縮小を余儀なくされましたが、当期はひな祭りを皮切りに、春の感謝祭など全力でスタートダッシュを図ってまいりました。

また、出退店につきましても、積極的に店舗のスクラップ&ビルド、移転新装や新業態のフードコート対応グリルレストランを出店するなど9店を出店し12店を閉鎖するとともに、精肉本店や三尺三寸箸ルミネ新宿店の全面改装を行なってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,983,049千円(前年同期比3.2%増)、営業利益は558,612千円(同30.2%増)、経常利益は559,751千円(同30.0%増)、四半期純利益は290,379千円(同928.4%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 精肉事業

花見シーズン、ゴールデンウィークへの焼肉企画や、調達力を活かした希少部位展開による集客力強化を図りました。

また、精肉本店の全面改装を行い、これにあわせて柿安オンラインショップ（ネット通販）機能を移し、品揃え強化を図るとともに、宅配に着手しました。

この結果、当事業の売上高は3,470,155千円(前年同期比0.5%増)、セグメント利益は224,908千円(同21.4%減)となりました。

(b) 惣菜事業

お花見やゴールデンウィークを中心に春の行楽シーズンに向け、弁当類の強化を図るとともに、JR名古屋高島屋ダイニングの柿安牛めし併設型店舗への新装、及び「松阪牛入りすき焼きメンチ」「ビフテキメンチ」などのオリジナル揚物類と柿安牛めしの複合型店舗を東京ソラマチに出店いたしました。

この結果、当事業の売上高は3,114,364千円(前年同期比10.4%増)、セグメント利益は440,448千円(同39.5%増)となりました。

(c) 食品事業

ホワイトデー、母の日のパーソナルギフト、和菓子ギフトによる手土産需要対応や、月中、月末それぞれ3日間限定での自家需要向け商品の販売により、お中元、お歳暮期以外の平月期間の強化を図りました。

この結果、当事業の売上高は424,197千円(前年同期比7.7%減)、セグメント損失は40,004千円(前年同期は12,605千円の損失)となりました。

(d) 和菓子事業

「生どら焼き（いちご）」「抹茶餡の柏餅」などの新商品投入や「冷やしみたらし」「水まんじゅう」をはじめとする涼菓シリーズの早期展開により、店頭の色とり、季節感の演出を強化するとともに、『おはぎ1億個突破キャンペーン』を実施しました。

この結果、当事業の売上高は1,142,776千円(前年同期比2.5%増)、セグメント利益は101,814千円(同0.5%減)となりました。

(e) レストラン事業

グリル部門に続き、ビュッフェ部門にも「肉の日」企画として、「塩麴唐揚げ、ローストビーフ、豚角煮」の特別3種盛りプレートの提供を開始するなど、集客企画の充実を図るとともに、「グリルカキヤス東京スカイツリータウンソラマチ店」の出店により、フードコート対応グリル業態の展開を開始しました。

この結果、当事業の売上高は1,812,368千円(前年同期比0.9%減)、セグメント利益は120,583千円(同356.5%増)となりました。

(f) その他

柿安グループの店舗を設けていない百貨店・量販店等において、柿安総合催事を実施いたしました。
この結果、その他の売上高は19,187千円、セグメント利益は2,454千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ161,862千円増加し、17,993,155千円となりました。主な要因は、現金及び預金505,475千円の減少がありましたが、売掛金230,025千円、新規出店に伴う有形固定資産218,154千円及び仕掛品192,899千円の増加によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ323,899千円増加し、5,908,400千円となりました。主な要因は未払法人税等476,666千円の減少がありましたが、未払金382,833千円、買掛金242,772千円及び賞与引当金179,608千円の増加によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ162,037千円減少し、12,084,754千円となりました。主な要因は利益剰余金145,243千円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年4月13日に発表いたしました「平成24年2月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載しております予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(役員退職慰労引当金)

当社は、平成24年4月13日開催の取締役会において、役員退職慰労金制度を平成24年5月18日をもって廃止することを決議いたしました。また、平成24年5月18日開催の定時株主総会において、本制度廃止日までの在任期間に対応する退職慰労金を打ち切り支給することとし、その支給の時期は、各役員の退任時とすることを決議いたしました。

これに伴い、本制度廃止日までの期間に対応する役員退職慰労引当金98,420千円を流動負債の「未払金」(4,250千円)及び固定負債の「その他」(94,170千円)へ振り替えております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年 5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,410,305	5,904,829
受取手形及び売掛金	2,612,782	2,842,807
商品及び製品	222,439	275,521
仕掛品	106,204	299,103
原材料及び貯蔵品	138,953	180,378
繰延税金資産	250,046	289,260
その他	57,105	27,240
貸倒引当金	△25,576	△27,387
流動資産合計	9,772,261	9,791,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,163,138	3,382,395
土地	2,282,565	2,282,565
その他（純額）	730,962	729,860
有形固定資産合計	6,176,666	6,394,821
無形固定資産		
その他	142,071	135,706
無形固定資産合計	142,071	135,706
投資その他の資産		
投資有価証券	164,689	139,430
繰延税金資産	424,054	374,786
差入保証金	928,935	947,288
その他	222,613	209,367
投資その他の資産合計	1,740,293	1,670,872
固定資産合計	8,059,031	8,201,400
資産合計	17,831,292	17,993,155
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,202,123	1,444,896
未払金	316,394	699,227
未払法人税等	724,012	247,345
未払費用	886,434	981,250
賞与引当金	354,719	534,327
役員賞与引当金	33,000	8,250
その他	570,795	547,528
流動負債合計	4,087,479	4,462,825
固定負債		
長期借入金	897,500	842,500

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 2 月29日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 5 月31日)
退職給付引当金	3,222	3,566
役員退職慰労引当金	95,806	—
資産除去債務	491,931	498,477
その他	8,561	101,030
固定負債合計	1,497,021	1,445,574
負債合計	5,584,500	5,908,400
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,269,238	1,269,238
資本剰余金	1,074,763	1,074,763
利益剰余金	9,919,504	9,774,260
自己株式	△372	△372
株主資本合計	12,263,133	12,117,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16,341	△33,134
その他の包括利益累計額合計	△16,341	△33,134
純資産合計	12,246,791	12,084,754
負債純資産合計	17,831,292	17,993,155

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
売上高	9,675,503	9,983,049
売上原価	5,398,336	5,373,858
売上総利益	4,277,166	4,609,191
販売費及び一般管理費	3,848,111	4,050,578
営業利益	429,054	558,612
営業外収益		
受取利息	931	1,097
協賛金収入	3,545	1,153
その他	5,897	5,981
営業外収益合計	10,374	8,231
営業外費用		
支払利息	5,975	4,137
その他	2,895	2,954
営業外費用合計	8,871	7,091
経常利益	430,557	559,751
特別損失		
固定資産除売却損	43,770	15,590
減損損失	—	5,003
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	276,357	—
その他	14,592	270
特別損失合計	334,720	20,864
税金等調整前四半期純利益	95,836	538,887
法人税、住民税及び事業税	218,300	229,300
法人税等調整額	△150,698	19,208
法人税等合計	67,601	248,508
少数株主損益調整前四半期純利益	28,235	290,379
四半期純利益	28,235	290,379

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	28,235	290,379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,969	△16,793
その他の包括利益合計	△15,969	△16,793
四半期包括利益	12,265	273,585
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,265	273,585
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	精肉事業	惣菜事業	食品事業	和菓子 事業	レストラン 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,452,589	2,820,161	459,384	1,114,637	1,828,729	9,675,503	—	9,675,503
セグメント間の内部 売上高又は振替高	286,623	5,071	79,496	26,484	5,676	403,352	△403,352	—
計	3,739,212	2,825,233	538,880	1,141,122	1,834,405	10,078,855	△403,352	9,675,503
セグメント利益 又は損失(△)	286,267	315,808	△12,605	102,371	26,417	718,258	△289,204	429,054

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△289,204千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△299,484千円及びその他調整額10,280千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	精肉事業	惣菜事業	食品事業	和菓子 事業	レストラン 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	3,470,155	3,114,364	424,197	1,142,776	1,812,368	9,963,862	19,187	9,983,049	—	9,983,049
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	286,243	3,806	74,942	32,067	4,038	401,097	—	401,097	△401,097	—
計	3,756,398	3,118,171	499,140	1,174,844	1,816,406	10,364,960	19,187	10,384,147	△401,097	9,983,049
セグメント利益 又は損失(△)	224,908	440,448	△40,004	101,814	120,583	847,749	2,454	850,203	△291,591	558,612

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、全社催事等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△291,591千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△303,573千円及びその他調整額11,982千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「惣菜事業」セグメントにおいて、店舗資産（3店舗）の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては5,003千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。